県士会員　各位

令和５年度　長野県言語障害児者数調査　実施のお願い

調査部

　　今年度の調査期間が迫ってきました。STの仕事量や内容を継時的に把握するための調査となります。昨年度は前回の調査結果を失語症者向け意思疎通支援事業等で県へ情報提供も行っています。ご多忙とは存じますが、どうぞご協力をお願い致します。なお、集計をより簡易的に行うため、Excel形式のデータ添付で提出をお願い致します。

1. 目的

県内における言語障害児者数の把握

1. 調査期間

**令和5年8月1日～8月31日**

1. 対象

　　上記期間中にSTが関わった言語障害児者（摂食嚥下障害を含む）

＜原則＞

1. 一人の言語障害児者に対して1カウント
2. 個別に対応した場合をカウント
3. STが関わりコスト**※**が発生している場合をカウント

　※コスト＝疾患別リハ、口腔機能向上加算、経口維持加算、経口移行加算、巡回相談（注1）など

②　または　③に該当する場合をカウント

1. 巡回相談：巡回指導、出張相談、訪問支援など、教育・福祉等における様々なアウトリーチ型サービスを含む。
2. 集計・データ提出方法

★推奨★

県士会HPより集計用紙をExcel形式でダウンロードし、調査部アドレスへ添付して提出

　　　　　　　　　　　　　調査部アドレス：[slht.nagano.chosa@gmail.com](mailto:slht.nagano.chosa@gmail.com)

※ホームページ掲載先：**会員専用ページ（ID：nagano）**　パスワードはIDの後ろにｓｔを追加。

　　　　　　　　　　→会員専用ページTopを**下へスクロール**　→県士会動画をさらに**下へスクロール**

　　　　　　　　　　→言語障害児者数（各施設新患数）調査

　　　　　　　　　　→Excelデータより成人・小児をダウンロード

1. 締め切り

　　　　　　令和5年9月末日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※なお、未提出の施設には調査部よりデータ提出のお願いをさせていただきます。

☆問い合わせ

調査部アドレス　slht.nagano.chosa@gmail.com　　　担当：藤森、重久

よくある質問　Q＆A

＜原則＞

1. 一人の言語障害児者に対して1カウント
2. 個別に対応した場合をカウント
3. STが関わりコスト**※**が発生している場合をカウント

　※コスト＝疾患別リハ、口腔機能向上加算、経口維持加算、経口移行加算、巡回相談（注1）など

②　または　③に該当する場合をカウント

＜医療領域編＞

　　　Q1:重複して障害がある場合には、どこにカウントしたら良いですか？



　障害の主症状となる病名、主にアプローチする内容でカウントしてください



　Q2:摂食機能療法で算定している患者様は“嚥下障害”のみカウントですか？



算定は摂食機能療法であっても、言語障害も重複している場合には

そちらもカウントをお願いします。



　　Q3:小児領域集計にて、はっきりと診断されていない場合は？



臨床症状より、どの障害名が一番近いかを判断してカウントをお願いします



　Q4：8月中に転院されてきた患者様。前医でもST介入しており、おそらく

カウントされていたが当院でもカウントした方がいいでしょうか？



転院先の病院では新規患者となりますので、カウントをお願いします



＜介護領域編＞

　　　Q5:集団でリハビリをしています。その場合はどうカウントしますか？



集団のリハビリであっても、個別に対応した場合、または、

コストが発生している場合はカウントをお願いします



　　　Q6：施設入所の方、全員の摂食嚥下を担当しています。カウントは？



個別に対応した場合、または、コストが発生している場合はカウントをお願いします



＜訪問リハビリ編＞

　　　Q7:嚥下機能のフォローで概ね3ヶ月に1度訪問している方がいます。今回の

調査期間（8月中）に対応しないのですが、その場合はどうしましょうか？



　　今回の調査期間に当てはまらない場合には、カウントはなしです。



　　　Q8：要請を受け他職種（PT/OT/ケアマネ等）と同行訪問したが、サービス

にはつながりませんでした。この場合はカウントしますか？



STとしての個別対応にはならず、コストも発生していませんのでカウントはなしです



＜巡回相談・学校教育編＞

　　　Q9:巡回相談で本人ではなく、親御さんへの助言を行っていますが…



本人ではなくとも、個別に対応していれば原則②に当てはまりますので

カウントをお願いします。



　　Q10:特定のお子さんの相談ではなく、クラス全体を見ています。



この場合は原則②に反します。カウントはなしです。



　　　Q11: 学校関係者との会議（支援会議）に参加した場合はどうしますか？



本人・親が同席していなくても、その子に対する個別支援と考えられます。

原則②に準じてカウントをお願いします。



　Q12：複数の施設を回っています。それぞれの施設に対して集計が必要ですか？



可能な範囲で施設ごと（事業ごと）の集計をお願いします。ご負担になってしまうと思いますので、「8月中に対応した児者数」ということで一枚の用紙にまとめて

提出していただいてもかまいません。



ご協力、ありがとうございました。

調査に関するご意見・ご要望などがありましたら、データ提出と合わせて調査部E-mailまでご連絡を

いただければ幸いです。